

巨人“V9”メンバーサインパネル

いまから50年前、1973年のセ・リーグは稀にみる混戦となりました。9年連続日本一“V9”を目指す川上哲治監督率いる読売ジャイアンツは、前半を4位で折り返すと8月以降立て直し首位戦線に浮上。10月22日、甲子園球場での阪神対巨人戦（ともにシーズン最終戦の130試合目）で2位の巨人が勝利し、大逆転でリーグ優勝を飾りました。日本シリーズでは、右手薬指負傷の長嶋茂雄選手を欠く巨人と、野村克也捕手兼任監督率いる南海ホークスが対戦。巨人は初戦を落としたものの、第2戦

から4連勝で9年連続日本一を達成しました。

今回紹介するのは“V9”メンバーによる記念のサインパネルです。約96×66cmの額入り、川上監督が所蔵していたもので、2016年に川上家からご寄贈いただきました。川上監督が下段中央にサインし、前年からコーチ兼任だった長嶋選手、森昌彦捕手ら首脳陣、王貞治選手、堀内恒夫投手ら一部のメンバーのサインが入れています。翌74年、巨人は勝率1厘差で2位となり（優勝は中日）、“V10”を逃して川上

監督は勇退、長嶋新監督が就任することとなりました。

公益財団法人 野球殿堂博物館
学芸員 関口貴広

